

取扱説明書

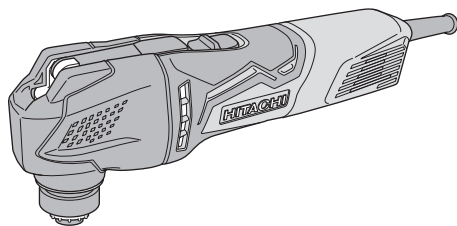


用途

- 各種材料の切断、ポケット切断
- コーキング・タイル等の剥離
- 木材等の研磨

日立 マルチツール CV 350V

このたびは日立マルチツールをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部の名称	6
標準付属品	6
仕様	7
別売部品	7

はじめに




ご使用前の準備と確認	8
操作方法について	9
先端工具の取付け・取りはずし	11
切断する	13
研磨する	15


使い方


保守・点検	17
ご修理のときは	裏表紙


その他


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

警告

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。


- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルチツールとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。
 - 製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると工具類（ブレードなど）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ④ シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。
- ⑤ 金属を加工すると火花が飛散する恐れがあります。引火しやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
- ⑥ 使用中は、機体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑦ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑧ 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や機体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

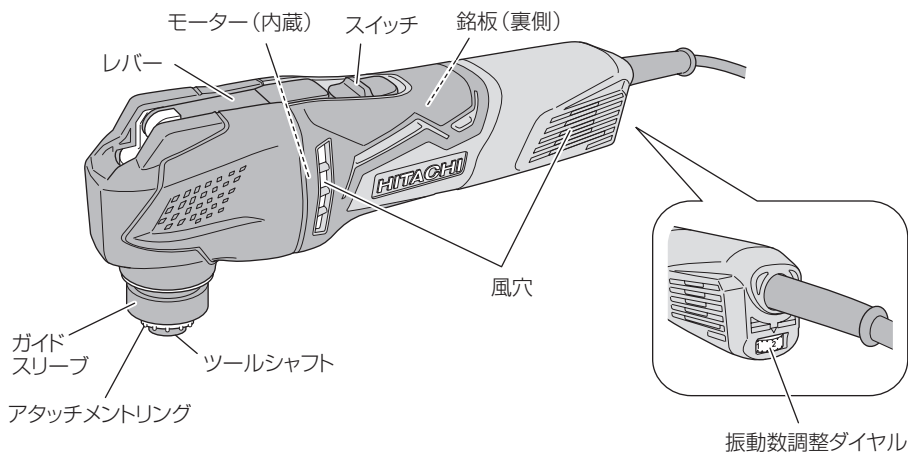
⚠ 注意

- ① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、先端工具や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ③ 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 先端工具でコードを切断しないように注意してください。
 - 感電の恐れがあります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑥ 無理に強く押しつけないでください。
 - 先端工具の破損や機体の損傷を招くだけでなく、けがの原因になります。
- ⑦ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。
- ⑧ 先端工具を取付ける際は、レバーに指などをはさまないように注意してください。
- ⑨ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水に濡らさないでください。
 - 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称



標準付属品

パッド MU 93D		1 個
サンドペーパー (# 60、# 120、# 240 各2枚)		6 枚
ブレード MD 28 PB		1 個
アクセサリケース		1 個
ブローケース		1 個

仕 様

形 名	CV 350 V
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
全 負 荷 電 流	4.1 A
消 費 電 力	350 W
無 負 荷 振 動 数	通常モード(ダイヤル1~5) : 6,000 ~ 20,000 min ⁻¹ {回/分}
	自動変速モード(ダイヤルA) : 15,000 min ⁻¹ {回/分}
振 動 角 度	3.2° (両側合計)
質 量	1.5 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤコード2.5m

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください)

同梱の別売部品シートあるいはカタログをご覧ください。
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ご使用前の準備と確認

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合



警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

公称断面積 (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	15
2	25
3.5	45

延長コードは公称断面積 1.25 mm²以上の太さで、右表の「最大長さ」よりも短いものを使用してください。

●使用電源の確認

- 必ず銘板に表示してある電源で使用してください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。
- 直流電源やエンジン発電機、変圧器、溶接機などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

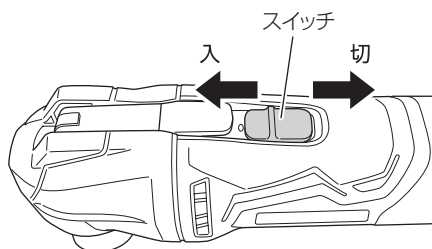
●コンセントの確認

電源プラグがガタついたり、抜けやすいコンセントは修理が必要です。
修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などにご相談ください。
修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

操作方法について

●スイッチの操作について

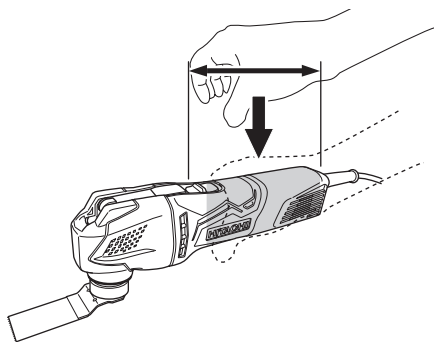
スイッチは図の方向にスライドさせると入/切できます。



●機体の保持について

作業するときは、片手で機体を保持してください。

また、金属部分には、触れないでください。



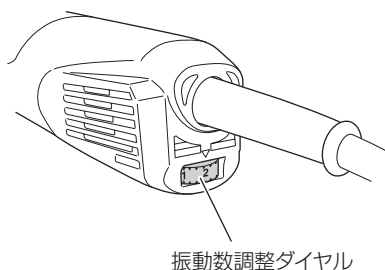
●振動数調整ダイヤルの操作について

本機には、「通常モード」と「自動変速モード」の2モードが備えられています。

「通常モード」は、振動数を6,000～20,000 min⁻¹の範囲で無段階に設定できます。

「自動変速モード」は、作業の負荷に応じて、振動数を15,000 min⁻¹と20,000 min⁻¹に自動で切替えます。作業前・作業間の無負荷時に振動・騒音を下げることがあります。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合ったモードで使用してください。



モード	ダイヤル	振動数
通常モード	1～5	6,000～20,000 min ⁻¹ {回/分}
自動変速モード*	A	15,000 min ⁻¹ {回/分} (無負荷および軽負荷作業時) 20,000 min ⁻¹ {回/分}

※作業条件や先端工具の種類によって、振動数が20,000 min⁻¹に上がらない場合や、15,000 min⁻¹に戻らない場合があります。

先端工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

先端工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

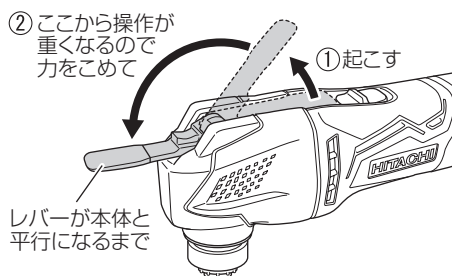
- レバーには強いバネ力がかかっています。勢いよく倒れる場合がありますので、指などをはさまないように十分に注意してください。
- 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、触れないでください。

先端工具は次の手順で取付け・取りはずしをしてください。

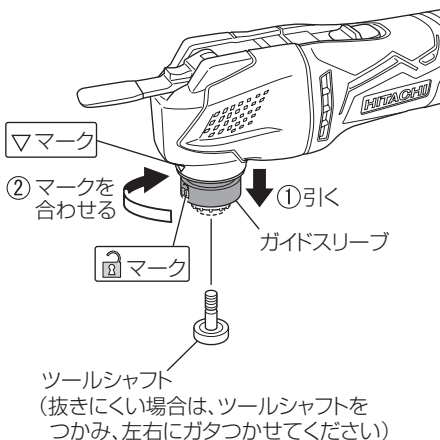
- 注**
- 先端工具の表裏をまちがえないように注意してください。
 - 先端工具の穴が、アタッチメントリングの凸部に確実に入っていることを確認してください。

取付け

- 1** レバーを起こします。
操作は重く感じますが、本体と平行になるまで確実にレバーを起こします。

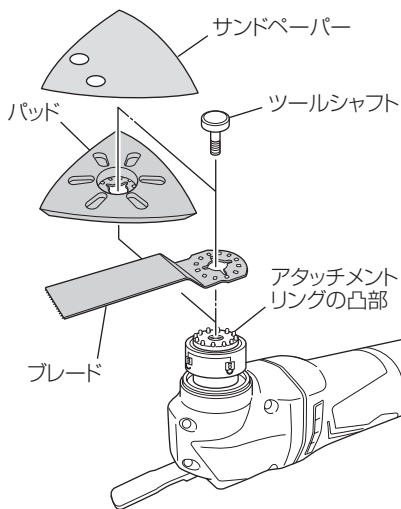


- 2** ガイドスリーブを引っ張って回し、
🔒 マークを▽の位置に合わせます。



- 3** ツールシャフトを抜きます。



- 4** アタッチメントリングの凸部に、先端工具の穴を合わせて取付けます。先端工具は、取付角度を 30° ごとに設定することができます。

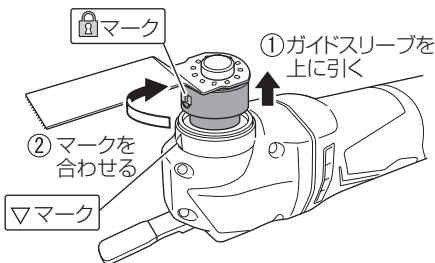


- 5** ツールシャフトを奥まで、しっかりとさし込みます。

注 必ず**6**の操作後、**7**を行ってください。

6と**7**の手順を逆行行くと、先端工具がしっかりと固定できません。

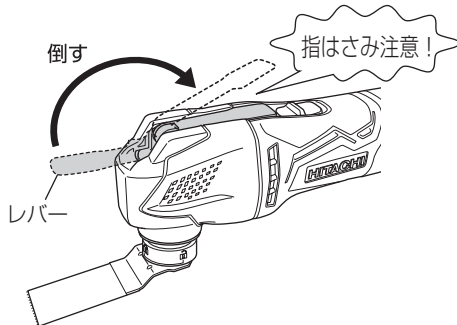
- 6** ガイドスリーブの  マークを  の位置に合わせます。



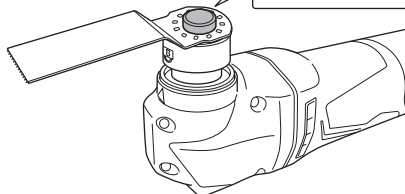
- 7** レバーを倒します。先端工具が確実に取付けられているか(ガタつきがない)を確認します。

- 8** ツールシャフトが回らないことを確認してください。

- 9** サンドペーパーは、パッドに穴を合わせて貼付けます。



しっかりと固定!
ツールシャフトが回らないことを確認



取りはずし

取付け手順の **1** ~ **3** に従い、先端工具を取りはずします。

切断する

- 各種材料の切断、ポケット切断
- コーキング・タイル等の剥離

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、①、②では必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- 作業中は、機体の先端部に手や顔を近づけないでください。


1 スイッチが切れていることを確認する

(P 9「スイッチの操作について」参照)

2 先端工具を点検する

- 先端工具が正規のものか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

注 先端工具にガタつきがある場合、

- ツールシャフトが奥まで入っていない。
- ガイドスリーブが  の位置にない。
- レバーが倒されていない。

などの理由があります。

P 11「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

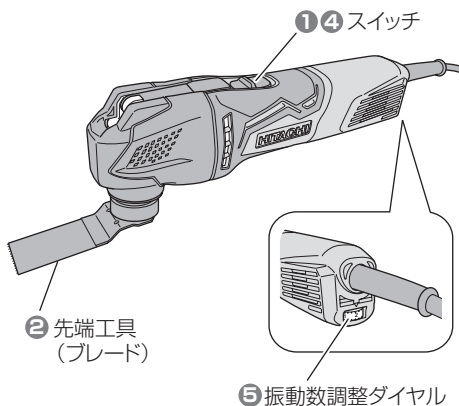
3 電源プラグをコンセントにさし込む

⚠ 注意

- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 能率良く切断するために、モードを作業条件、切断材料に合わせてください。
- 切断時は、無理な力を加えないでください。先端工具の折損やモーターが故障する恐れがあります。

4 スイッチを入れる

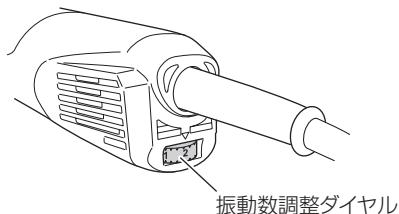
(P 9「スイッチの操作について」参照)



5

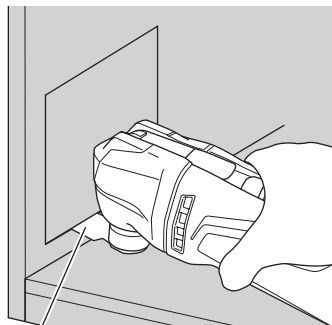
振動数ダイヤルの目盛を合わせる

作業に応じたモードを設定します。
(P10「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)

**6**

切断する

先端工具を材料に軽くあて、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前に進めます。



先端工具
(ブレード)

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、①、②では必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- 作業中は、機体の先端部に手や顔を近づけないでください。


1 スwitchが切れていることを確認する

(P 9「スイッチの操作について」参照)

2 先端工具を点検する

- 先端工具が正規のものか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- 先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

注 先端工具にガタつきがある場合、

- ツールシャフトが奥まで入っていない。
- ガイドスリーブが  の位置になっていない。
- レバーが倒されていない。

などの理由があります。
P 11「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

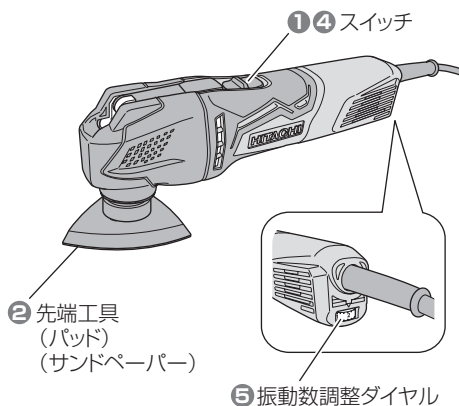
3 電源プラグをコンセントにさし込む

⚠ 注意

- 機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- 能率良く切断するために、モードを作業条件、切断材料に合わせてください。
- 研磨時は、無理な力を加えないでください。先端工具の折損やモーターが故障する恐れがあります。
- 金属の研磨に使用したサンドペーパーは、木材の研磨に使用しないでください。
- 摩耗したり、目詰まりしたサンドペーパーは使用しないでください。

4 スwitchを入れる

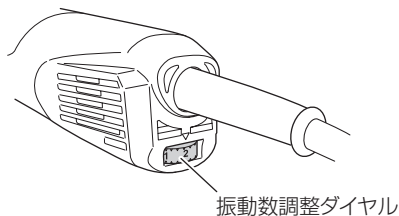
(P 9「スイッチの操作について」参照)



5

振動数ダイヤルの目盛を合わせる

作業に応じたモードを設定します。
(P10「振動数調整ダイヤルの操作について」参照)

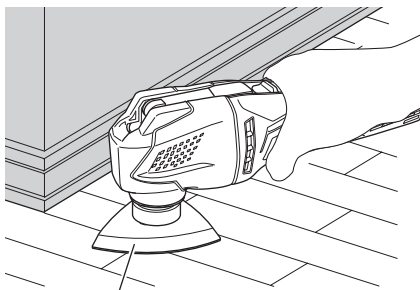


振動数調整ダイヤル

6

研磨する

先端工具を材料に軽くあて、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前後に進めます。



先端工具
(パッド)
(サンドペーパー)

●研磨のコツ

●サンドペーパーのあて方

サンドペーパーが加工面に一様に当たるように機体を加工面に軽く押しつけます。必要以上に強く押しつけると、モーターに無理がかかり、サンドペーパーの寿命を短くするだけで、研磨能力を悪くします。

●機体の動かし方

機体を手元から前方へ移動し、手元に引き戻すという往復運動を繰り返します。

●サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は

サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は、使用のはじめに機体がバタつくことがあります。作業ははじめの少しの間、機体を前または後に多少傾けて保持するようにしてください。

サンドペーパーがなじむにつれて、バタつかなくなります。

●加工面が一様に研磨されるまでは

加工面が一様に研磨されるまでは、同一粒度のサンドペーパーを使用してください。作業途中で粒度の違うサンドペーパーに取り換えると、きれいに仕上がらない場合があります。

●試し作業

不要な材料で振動数を確認してから、作業を行うことをお勧めします。

保守・点検

警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●先端工具の点検

切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。
早めに目立てするか、新品と交換してください。

警告

切れ味の悪くなった先端工具はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

●取付ねじの点検

各部取付ねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。
もしゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 50時間くらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●カーボンブラシの交換方法

モーター部には、消耗品であるストップカーボンを使用しております。
カーボンブラシを交換する場合は、決してご自分ではなさないで、お買い求めの
販売店に依頼してください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥
した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>